

飯坂ロータークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 右近 八郎
ガバナー補佐 海老原 三博
会長 斎藤 孝裕
幹事 菅野 浩司

2023-24年度
地区スローガン

ロータリーの
誇りを
楽しもう!

世界に希望を生み出そう

2023 - 2024 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぽのこころ 吉川屋
RI会長 ゴードン マッキナー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
サウス・クイーンズフェリーRC (スコットランド)

10月は地域社会の経済発展月間/米山月間

国際ロータリー第2530地区 ガバナー公式訪問 令和5年10月12日(木)

[斎藤孝裕 会長] 右近ガバナー、本日はようこそ飯坂温泉においでいただきました。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。この後に各委員会から発表がありますが、場合によってはガバナーに質問をしていただき、参考にしながら、今後の活動に精進したいと考えております。よろしくお願いいたします。

[第2530地区ガバナー 右近八郎様] 今年度、ガバナーを拝命しております福島ロータリークラブの右近八郎です。これに先立つ会長・幹事会でクラブ文化を教えてくださいました。まとまっていて、あまり地区を必要としないクラブです。色濃いクラブ文化ですが、それほど特徴があるわけではない標準的なクラブという感じです。私は齒に衣着せぬところがありますが、これは事実を言っているわけで、よし悪しで言っていることではありません。ぜひとも憤慨することのないようお願いいたします。



クラブ協議会

S.A.A 吾妻一夫 正 S.A.A S・A・Aの使命と任務を認識し、会長、幹事、各委員会とも密接に連絡を取りながら、秩序正しく品位があり、なおかつ楽しい例会になるように心を配ります。そのために五つの項目を推進し、スムーズな会場管理をしていきたいと思います。

クラブ奉仕第一委員会 生田目正志 委員長 会員増強を最重点課題として取り組み、クラブの活性化はもとより地域の活性化も図れるようなクラブにしていきたいと思います。また、ロータリー情報委員会では、全会員に様々な情報提供を行い、レベルアップを図りながら、活力ある、魅力あるクラブ作りに努めます。

職業分類・会員増強・選考小委員会 千葉政行 小委員長 会員増強の目標純増3名、退会者ゼロを目指します。会員増強を進めていくために、例会において皆さんに啓蒙していきたいと思います。特に推薦者のリストを作成し、一人ひとりの意識を高め、若い方、女性候補のアプローチを強化してまいります。よろしくお願いいたします。

ロータリー情報小委員会 村上裕司 小委員長 会員各位のロータリーに関する知識と理解をより一層深めることを目的とし、その目的を達成するために、会員増強委員会と連携し、入会候補者にロータリー会員の特典と責務に関する資料提供を行い、ロータリーの理念を説くなどの五つの活動を行いたいと思います。

クラブ奉仕第二委員会 紺野容樹 委員長 各小委員会の活発な活動を図り、充実した親睦、奉仕活動ができるように配慮したいと思います。特に親睦活動小委員会とプログラム出席小委員会は会の運営上、とても大事な委員会です。それぞれの小委員会と連携を図り、正しく有意義なクラブになるように努めてまいります。

親睦活動小委員会 畠 隆章 小委員長 ロータリー活動の基本は会員同士、あるいは会員家族の絆を深めることにあります。親睦を深めることによって、より良好な人間関係を作ることができるよう努力してまいります。四つの活動方針を定め、年間行事予定を計画し進めてまいります。よろしくお願いいたします。

プログラム・出席小委員会 渡辺達也 小委員長 活動方針として、会長の基本方針に基づいて例会プログラムを企画し、各委員会と連携を図り、各委員会活動の発表の場を設けると共に、移動例会、夜間例会など会員間の親睦を図るプログラムを取り入れ、魅力ある例会にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

公共イメージ小委員会 高倉 怜 小委員長 クラブ週報の発行、HPへの情報掲載の充実を図り、会員とその家族、地域住民に広くクラブ活動の意義を伝え、理解と支援を促進します。My Rotaryの登録を推進すると共に、時代のニーズに沿う形でのITやSNSの活動に取り組み、会員の意識高揚と成長、公共イメージの向上を図ります。

スマイリングボックス小委員会 堀切孝敏 委員 会員一人一人が自分のお祝い事や家族のお祝い事等を祝して、寄付をしていただいております。目標額は毎年100万円をお願いしておりますので、今後、会員の皆様へご迷惑をかけるかもしれませんが、100万円以上をお願いしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

職業奉仕委員会 西山友幸 委員長 職業奉仕の精神は、職業を通して世のため人のために尽くすことです。さらに高い職業倫理を持って、自らの職業を实践し、自らを成長させながら奉仕を続けることです。委員会としてはロータリーの理念に基づいて活動し、職業奉仕の理解を深めます。

社会奉仕委員会 服部裕一 委員長 発表する前に訂正をお願いします。活動計画の3番目、福島観光協会になっておりますが、飯坂温泉観光協会に訂正をお願いします。地域に根ざした社会奉仕活動を行うため、地域社会のニーズや問題点を分析して、より良い事業の立案や解決策の提案などを実践していきたいと考えております。

国際奉仕委員会 鈴木牧子 委員長 当委員会は他国の人々との国際理解、親善、平和を推進する活動を目的とし、ロータリーの精神に則り、国際奉仕、国際交流を実践してまいります。計画内容として、飯坂八幡神社秋の例大祭に合わせて国際交流フェスティバルを催します。国際理解を深める学びとして、外国人講師を招き、スピーチを聴講します。継続事業の例会時100円募金を実施します。国際理解、親善、平和のための事業を検討し実施します。

青少年奉仕委員会 油井明則 委員長 次世代の担い手となる地域青少年の健全な成長を願い、地域社会への理解、国際的な感覚を育む事業を行います。ロータリー青少年指導養成プログラムの参加者募集。インターアクトクラブ設立のための事前協議、検討及び準備。青少年の現状、問題点について、会員が相互理解できる機会を設けます。

ロータリー財団委員会 渡辺哲也 委員長 目標事業として、年次寄付目標150ドル以上、ポール・ハリス・フェロー1名増、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー1名増、ポール・ハリス・ソサエティー2人加入を目指します。財団月間、世界理解月間、識字率向上月間を通じ、財団への理解と支援を呼びかけます。社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕の各委員会と連携し補助金プロジェクトへの参加を検討します。ポリオプラスプログラムに貢献します。ロータリーカードの利用を推進します。

米山記念奨学委員会 佐藤喜市郎 副委員長 ロータリー米山奨学会及び地区奨学会から提供される資料により、米山記念奨学会の歴史、目的等を会員に知らしめ、関連する委員会と協力し活動したいと思います。普通寄付は奨学会の永続的な財源として重要であり、特別寄付奨励については、会員にご理解を得られるよう努力し、米山功労者への協力を依頼します。奨学生の受け入れ、奨学生と会員の交流が深められるよう努めます。

戦略計画委員会 生田目正志 委員長 R I の戦略計画及び地区の目標に基づき、クラブ活性のために当委員会でも効果的に活動してまいります。1. 会員基盤の維持と強化。2. R I 戦略計画と中核的価値観の理解と実践。3. 公共イメージの向上。4. ロータリー賞への挑戦。飯坂クラブは今年もロータリー賞に挑戦いたします。



講評



いつも各委員会の話に移る前に、総論としてお聞きしてお話いたします。会計に関して、一般会員が公平に負担する経費とは違うということで、スマイリングを特別会計で扱っていただければと思います。次はクラブの細則に関するのですが、規定審議会により3年に1度見直すチャンスがありますので、見直しを検討していただきたいと思います。最後はクラブ研修リーダーについて、ラーニングファシリテーターを指名していただき、戦略委員会と協力しながら、地区やR I とのやりとりをもう少し密にしていきたいと思います。各委員会の話ですが、S・A・Aに関しては、現場におけるチャンスメイクの役割を果たしていただきたいと伝えています。委員会構成で第一が外向きの作業ですね。会員増強を中心とした情報発信で、第二が内向きの話ですが、公共イメージが

ここに入っているのが非常に機能的に不自然です。機能展開がわかるような委員会にしていきたいと思います。特に、ITの世界でいう仕組みの話と情報の内容の話というのは、機能的に分けていただきたいと思います。会員増強については、このクラブは第二分区で1クラブだけ非常に元気があります。会員増強は十分に成長しているクラブですので、あまり無理せず、分析して対応いただければと思います。ロータリー情報ですが、公共イメージも合わせて第二委員会にしてもらえばと思います。非常に内向きの親睦活動ですので、外向きの活動を親睦に取り入れていただきたいと思います。あとは公共イメージの会報ですが、紙ベースでやられています。見直しのチャンスですので、HP だけにあげるなど、委員会で検討してください。スマイリングボックスに関しまして、他の寄付に回せという語弊がありますが、バランスを取って対応していただければと思います。職業奉仕委員会は、出前講座が立派ですね。これは職業奉仕、青少年奉仕を兼ね備えています。社会奉仕、国際奉仕に関しまして、地区情報が入っていないのに、しっかりと対応されていて、ある意味理想的な形かなという感じがします。特に国際奉仕の国際交流フェスティバルは良いクラブ文化だと思います。青少年奉仕に関しまして、ライラやインターアクトというキーワードが入っており、ここはそういう歴史を刻んできたのですね。ロータリー財団の実績を見ると、いつも目安に到達しています。あとは理事会やクラブ協議会でも良いのですが、米山の方にもバランスを取って対応していただきたいという実績であります。戦略委員会に関しましては、全体の戦略やR I の戦略をどうやるかではなく、これはクラブとしての戦略というのを検討していただきたいと思います。クラブが50名体制になるためにはというビジョンが非常に大切です。地区なり、R I へのチャンネルをもっと太くすると、より立派になる感じがします。皆さんもご承知の通り、クラブからの地区出向者が少ないイメージです。ぜひともRLIをきっかけに、人との出会いはロータリー活動の大事なことで、地区やR I とのやりとりにもなりますので、今後のロータリー活動へ参考にしていただければと思います。よろしくお願いたします。

第15回 [3131] 例会報告 令和5年(2023)10月12日(木)

出席委員会報告

会員総数	36名
出席会員	28名
欠席会員	8名
出席率	77.78%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 齋藤孝裕 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 服部裕一 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 西山友幸 職業奉仕委員長

◆お客様紹介

- 国際ロータリー第2530地区ガバナー 右近八郎 様 福島RC 【職業分類：持株会社】
- 国際ロータリー第2530地区副幹事 菅沼 裕 様 福島RC 【職業分類：オフィス家具】
- 東北第二分区分会補佐 海老原三博 様 保原RC 【職業分類：幼稚園】
- 東北第二分区分会幹事 熊田竜児 様 保原RC 【職業分類：燃料販売】
- 東北第二分区分会幹事 大石洋介 様 保原RC 【職業分類：ガラス店】



【10月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪
 10月12日 渡辺由美子様(哲也会員) 10月14日 鈴木 典子様(正実会員)
 10月17日 菅野 征子様(浩司会員) 10月23日 川又 麻里様(康彦会員)

.....lunch time.....

◆会長の時間



本日はガバナー公式訪問ということで、右近ガバナー、菅沼副幹事のお二人においでいただき、ありがとうございます。また、クラブ協議会からは第二分区分会補佐海老原様、分区分会幹事の熊田様、大石様も交え、無事に協議会を開催することができました。席上、貴重なご意見、ご指導をいただき、今後のクラブ運営に大変役に立つお話をいただきました。本当にありがとうございました。10月7日に行われました国際交流フェスティバル「ザ・まつり in 飯坂」では、国際奉仕委員会鈴木牧子委員長、齋藤健太副委員長はじめ、ご協力いただきました皆様方、本当にありがとうございました。おかげさまで成功裏に終わることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

◆幹事報告 菅野浩司 幹事

A. 来 信 ①ガバナー 右近八郎 氏より 「2023年度米山記念奨学生による体験発表会の案内」
 と き 11月23日(木) 13:15～ ところ 郡山中央公民館

◆国際交流フェスティバルの報告 鈴木牧子 委員長

10月7日の国際交流フェスティバル「ザ・まつり in 飯坂2023」へのご協力、本当にありがとうございました。成功裏に終わることができました。福大生をはじめとした留学生約50名と三河台公民館の少年教室の小学生20名も訪ねて来てくれました。パーティーでは吉川屋さんにお世話になり、親睦委員長の畠さんと一緒に務めさせていただきました。本当に皆さんのおかげでうまくできたと思っております。ありがとうございました。



◆スマイリングBOX 堀切孝敏 委員 【合計77s】

- 国際ロータリー第2530地区ガバナー 右近八郎 様 12,000円 東北第二分区分会補佐 海老原三博 様 9,000円
- 齋藤 孝裕 会員 5s 右近ガバナー、菅沼副幹事をお迎えて… 海老原ガバナー補佐、熊田幹事、大石幹事と同席いただいて
- 菅野 浩司 会員 5s ガバナー公式訪問を祝して！本日はよろしくお願いたします。
- 鈴木 牧子 会員 5s 右近ガバナー他、皆様をお迎えて。国際交流フェスティバルありがとうございました。
- 安齋 忠作 会員 5s ガバナーをお迎えて 千葉 政行 会員 5s ・ガバナーをおむかえて
- 畠 隆章 会員 5s 右近ガバナーをお迎えて 佐藤喜市郎 会員 5s 右近ガバナーをお迎えて
- 石川 邦俊 会員 3s ガバナーをむかえて 紺野 容樹 会員 3s 右近ガバナーをおむかえて
- 生田目正志 会員 3s 右近ガバナーをお迎えて 西山 友幸 会員 3s 右近ガバナーをお迎えて
- 油井 明也 会員 3s 右近ガバナーをおむかえて
- 佐藤 真也 会員 3s 右近八郎ガバナーはじめゲストの皆様をお迎えて 国際交流フェスティバルお疲れ様でした。
- 白岩 裕和 会員 2s 右近ガバナーをお迎えて 渡辺 哲也 会員 1s 右近ガバナーをお迎えて。

◆ゲストスピーチ 国際ロータリー第2530地区ガバナー 右近八郎 様

ガバナーを拝命しております福島ロータリークラブの右近八郎と申します。福島ロータリークラブが初めて作った子クラブだそうで、非常に歴史と伝統のある飯坂ロータリークラブにお邪魔しております。今日はガバナー公式訪問のスピーチということで、「ロータリーの誇りを楽しもう」というのが、今年の地区のスローガンになっており、今日はこのテーマにたどり着いた話、国際協議会の結果を受けて、最終的には皆さん個人が魅力あるロータリアンになっていただきたいという話をいたします。いつも本題の前に、皆さんに客観的な数値として会員数の現況を紹介しております。第二分区分会6クラブの12年前の会員数を1.0と基準化した時に、どういう増減になっているのか、飯坂クラブは飛び抜けております。そこには非常にユニークな理由があるのかなと思います。出席率は会員数と同様に非常に大事で、そういう文化を見る良い指標でもあります。今年1月の国際協議会での情報を基に、今の国際ロータリーがどういう状況にあるかお話ししたいと思います。まず、118年間のロータリーの歴史を通じて、ロータリー哲学、奉仕というものをどう捉えてきたかという変遷をマップで表記したいということで、マップは緯度と経度があるグラフで、縦軸と横軸を設定しました。縦軸は奉仕というものが「個別的か」「集団的か」、左右が「機能的」「精神的」です。初期のロータリーは実はバックスラッシングであったと言われております。ビジネス上、お互い有利になるように非常に機能的であって、しかも個別的だったのですが、時を同じくして、これは「第一の危機」と言われております。この危



機を乗り越え、アーサー・シュルドンが関係者を含めハッピーなるようなビジネスの環境を提案し、これが今に残る「ロータリーのDNA」である職業奉仕が、シュルドンのビジネス理論によって提案されました。これを取り込んだということですが、時を同じくして、これも精神的な方で「超我の奉仕」が生まれました。これは先ほど以上に「第二の危機」といわれる対立を生んで、分裂の危機までいきましたが、100年前の「決議23-34」で発展的に解決しました。それ以来100年、実は集団的で機能的な方向に進んだのですが、途中で「第三の危機」が起こります。これは経済大恐慌です。そして、第二次世界大戦が始まって「第4の危機」が起こり、実は21世紀の手前の会員減少は、今も真っ只中にあると言われており、「第五の危機」の真っ最中なのです。21世紀になる手前でR Iは非常に危機感を覚え、CLP、DLPと言われる全世界的に統一的な統治機構を導入しました。ここで実はある意味ロータリーでは“静かな革命”が起こったという認識を持っている方が多いのです。ロータリーは数多くの危機を乗り越えましたが、これを常に覆っていたのは『人類愛』というものだったと思います。友情、親睦、寛容という精神が、常にロータリーを包んでいたのも、これがロータリーが永続性を確保できてきたキーポイントだと考えております。ここで国際協議会での4人の首脳の意見をご紹介します。まず、現在のR I会長ゴードン・マッキナリーさんは非常にバランスの取れた方で、基本的には保守です。この方の主張は以前のリーダーたちの良いアイデアを前進させ、ロータリーのビジョン声明を実現するために、改めて、平和の推進に向けて進みましょうということを出されたテーマが「世界に希望を生み出そう」です。合わせて、実弟の方がメンタルヘルス患って自殺されたということで、メンタルヘルスという点で、何かロータリーができないかという提案をされました。次に直前会長のジェニファー・ジョーンズさんですが、非常に精神的なものを大事にする方で「今の動きを加速させ、クラブを温かく、居心地の良い成長の場とすることができれば、未来は無限です」と言っております。3番目はバリー・ラシンさん。今の財団管理委員長で、財団トップです。この方は非常に機能的であり、管理委員会として寄付額5億米ドルを目標に立てました。「皆様のコミットメントが必要です」と言っており、今でいう700億



を超えております。4人目はジョン・ヒューコさんで事務局トップです。R I事務総長兼2回前の規定審議会からCEOというタイトルを合わせて持っております。「単独で何かすることはできない。パートナーシップを強化することで、行動計画が実現される」と言っております。4人を先ほどのマップに落とすと、ゴードンさんは非常にバランスが取れておりますが、ジェニファー・ジョーンズさんは精神的で、ある意味日本人好みを発想されますが、ラシンさんは非常に機能的、さらにジョン・ヒューコさんに至ってはリアリストまっしぐらというのがR Iの現況です。これはロータリーに限らず、組織運営において、組織が求める目的を実行するための機能

性という問題と、それと支える精神性というものが常に問題になるということです。ロータリーの組織特性の話をいたします。地区あるいはクラブというのは、共同体の構成員からなる機能体です。共同体は構成員の満足を第一目的とする組織で、自然発生的な代表は家族です。また、構成員からなる、ある目的を持って遂行したいという機能体で代表的な組織は企業です。これをやりたいために働いている構成員、動いていただく構成員が、皆家族のようなメンタリティーを持っている。要するに義務感を感じないのです。この「強制的」というところに、ロータリーの組織の特性があります。飯坂ロータリークラブは、あまり地区を必要としないイメージがあるのですが、それはそれで全然問題無いのです。自立していて、自治権を持っているクラブということで、地区の目的はクラブの支援をすることですので、R Iもそうですが、参画をするクラブのために支援するというのが地区の目的です。今期、地区目標として2点あげさせていただいております。左と右、「機能性」と「精神性」ということで、一つはコストをかけてはいけないということ。効率的な地区運営と様々なガバナンスの問題、コンプライアンスの問題、ハラスメントの問題がありますので、リスク管理というのを1本、もう一つが精神性の面です。いかに精神性を確保できるかが、楽しいロータリー活動にかかっている。機能性と精神性の融合ということで、地区方針を立てさせていただきました。次の一文が、先ほど年間計画書の職業奉仕委員会に書いてあった文章です。日本人の基本的な職業観というのは「世のため 人のため」である。この職業の問題を議論すると、やはり人生の話で、日本人の基本的な職業観は「世のため 人のため」なのです。これは『知足安分』の世界です。分を重んじて、それに満足するという日本人特有のスタンスが、そのまま「世のため 人のため」であって、これを四文字熟語で書くと、実は「職業奉仕」になります。日本人がそういうベースを持つせいで、R Iや職業奉仕を素直に納得できないのです。常に終わらぬ議論が続くというのは、こういう日本人の持っている未知となる職業観からだろうと考えております。日本人の精神構造というのは、西欧人の精神構造と全く逆で、西欧人はまず自己を確立し、ある意味ルールを確立して、それをどんどん社会に広げていくという精神構造を持っているのに対して、日本人というのは全く逆です。自分を社会環境に投げ込んで自己成長を積み、ある意味、その果てによりやく何かできるようになる。これをロータリーで見るとなんとなくわかります。ローターアクトを例にすると、欧米のローターアクトはことごとくうまくいくのに、日本のローターアクトはことごとくうまくいきません。これはなぜかということ、欧米人は社会参画を自然に受け入れる、そういう精神構造であるのに対して、日本人というのはまず内に向かって、自己研鑽という言葉で、最終的にようやく奉仕というものを許容する。そういう構造が日本人の基本的な構造だからであろうということです。これからのロータリーと日本人のあり方として、R Iは新しい統治機構を目指しながら、今は地域化されております。地域特性に根ざした精神性とグローバルな機能性を一体化するものであって、地域化と共存することが、ロータリーがこれから永続性を確保できる形であると言えます。このベースとなるのが、実は魅力的なクラブ作りであり、チャンスメイクなのです。出会いを演出する楽しいロータリー活動というのが基本で、言葉で書くとの外的な楽しみから内的な喜び、それが本来の楽しいロータリー活動であるべきだろうということなのです。新しい出会いにより、あなたの公正さ、正義感を皆さんが共感できるようなものに磨き上げていくことで、最終的には会員一人一人が魅力的な人となるのが魅力あるクラブ作りの源泉であり、最後は地区のこのスローガンにつながったという話です。楽しむだけではなく、あなたの道に引き込む、そういう誇りを楽しんでいただきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長